

震災を乗り越え畜産では石川県内初の JGAP 認証取得！



石川県の真ん中あたり、県内一の大きな潟「河北潟」のほとりにあるホリ牧場。
1932 年からホリ乳業と共に、乳牛を飼育しながら牛乳を製造し、90 年以上地元の人に親しまれてきました。
しかし、2024 年元旦、能登半島地震に見舞われ、断水や周囲の液状化現象により、日常が一変。1月16日に予定していた JGAP 審査は先送りにしようか迷いましたが、「こんな時こそ前に進もう」と復旧作業の傍ら審査の準備を進め、同月 30 日に認証を取得し、畜産では石川県初の JGAP 認証農場となりました。

ホリ牧場の概要
所在地：石川県河北郡内灘町
収容頭数：約 400 頭
従業員数：正社員 14
 アルバイト・パート 6 名
2024年1月 JGAP 認証および
A2 ミルク認証取得
7棟ある牛舎のうち、1棟でA2ミ
ルクを生産



ホリ牧場のすぐ隣にある「夢ミルク館」。ホリ牧場の自慢の牛乳や人気 No.1 のソフトクリームを味わうことができます。かわいい仲間たちがお出迎えしてくれます！

JGAP 認証取得のきっかけは？

「JGAP を取得していると乳業メーカーさんや代理店の方が安心感を持って取り引きしてくれるということと、会社を整え、従業員の環境を変えたいという思いから、認証取得を決めました。」
と堀牧人さん。



専務取締役兼管理獣医師の堀牧人さん

では、認証の取得を考え始めた当初、従業員の方々からはどんな意見があったのでしょうか。

従業員の半田風子さんに聞いてみました。

「それまでの労働環境が結構ひどくて、労働時間が長いのが一番きつかったです。

JGAP を取ると言われたときは、それで環境が良くなっていくならついていこうって。他の従業員の間も面白いんじゃないかとノリノリで掃除したりしました。」



リーダー育成担当の半田風子さん



JGAP に取り組むことで組織力が向上したと語る堀さん

認証取得に向けて JGAP に取り組む中で見られた変化は？

「組織力が上がったと思います。以前は、それぞれが仕事をやっている状態でしたが、JGAP に取り組んでからは話す機会が増えて、みんなが同じ方向を向きやすくなったと思います。一人一人が考えて自分の仕事をするようになりました。」と堀牧人さん。

ホリ牧場では、JGAP 認証の取得を決めてから、2 カ月に 1 回、生産管理だけでなく JGAP の運用を含めたミーティングを、コンサルタントを行う赤松ファームクリニックの赤松裕久さん(獣医師・JGAP 畜産指導員)、全農くみあい飼料株式会社の山之内雅史さんを迎えて行っています。

ミーティングは以前から行っていましたが、すべて牛に関する内容だったそうで、JGAP に取り組んでからは労務管理や労働安全の話をみんなでするようになったとか。



2 か月に 1 回のミーティングの様子。
乳量や乳質、牛の疾病発生状況等の生産管理と JGAP への取り組みについて、現状把握と課題の抽出を行いながら、より良い管理を行うための対応策を話し合います。今回は、JGAP への取り組みに関して、牛舎内での作業中の転倒による怪我の予防策の見直しを行っていました。



JGAP に取り組む中でみられた変化について語ってくれた松田さんと柴野さん

従業員の方にもお話を聞いてみました。

「JGAP を始める前は道具等が乱雑に置かれていて手の付けようがなかった。でも片づけを行っていくうちに牛舎全体が綺麗になっていくのがとてもうれしかったです。」と整理整頓について話してくれたのは松田くるみさん。

また、柴野匡史さんは教育に関して感じたことを教えてくれました。

「新しい人が入ってきた時に人によって説明が違ってくると、新しい人は判断に迷ってしまう。誰に聞いても同じルールが教えられるっていうのはすごくいいことだなと思います。」



生産性とJGAP、両方の課題の抽出と対策を話し合う堀さんと赤松さん

JGAPに取り組む中で苦労した点はありましたか？

「苦労の連続でした(笑)やっぱり忙しい中で文書を作るのがとても大変で。外部委託契約書の締結、災害時の対応手順、トレーサビリティのマニュアル、リスク評価などは1から作りました。」と、苦労を語ってくれた堀さん。

一方で、「作成した文書は思った以上に役立ってます。各種申請や経営試算を出すとき、また今回の震災の補助金申請でも活用できました。」と、文書の汎用性も実感したとのことでした。

オリオン機械株式会社のVMAPという飼養管理システム、牛乳のチェック表、繁殖のデータ等、もともとあるものを活用して作成できるものも多かったとも話してくれました。

災害時に生かされたJGAPの取り組み

- ボヤ発生時のスムーズな消火活動
- 燃料等の適正な管理による火災による二次被害の防止
- 連絡網の整備による従業員の状況の把握
- 「災害時の対応手順の整備」による各行政機関、関係者へのスムーズな連絡、断水による搾乳への適切な対応
- 被害状況の申請、報告時の設備、機械一覧等の文書の活用



整理整頓された農場内や従業員用休憩室

ホリ牧場にとってJGAPとはどのような存在なのでしょう。

「これまでルールがバラバラだったけど、JGAPがあると完全なルールが1番頂点にあって、それに従って正していくのがJGAPだと思ってます。教科書みたいな存在です。」

と、半田さんは語ってくれました。

今後の展望は？

「“牛のニーズ、人のニーズに応える企業を目指そう”というスローガンがあるので、JGAPを活用しながら、求められるものを作っていけばいいなと思ってます。

今後、石川県の特別栽培農産物認証も取って自給飼料の価値も上げていきたいし、地球環境に配慮したものを使って、環境負荷を軽減しながら作られている牛乳だということをもっと謳えるようになりたいと思っています。」

と、農場の未来像を語ってくれる堀さん。

A2ミルク認証の取得について

実は、ホリ牧場は JGAP 認証取得直後、もう一つの認証も取得していました。それは、A2 ミルクの認証。

牛乳に含まれる乳タンパク質「βカゼイン」は A1 型と A2 型があり、牛乳を飲むとおなかがゴロゴロするのは A1 型のβカゼインによるものです。

A2 ミルクは「βカゼイン」が A2 型のみであるため、おなかがゴロゴロしにくいという特徴を持っています。



ホリ牧場のβカゼイン A2 遺伝子のみを持つ牛の生乳で作られた A2 ミルク



A2 ミルク認定書

堀さんは、

「酪農業界に携わってから、牛乳の消費が低迷していくのをずっと見てきて、求められる牛乳を作っていけないといけない。

そんな時に A2 ミルクの存在を知り、ホリ牧場の牛舎自体が分かれていることと、ホリ乳業の新工場建設を生かした大きな起爆剤になるのではと思いました。また、A2 ミルク認証は JGAP もしくは JGAP と同等の認証の取得が要件となっているので、スムーズに認証を取得することができたことも大きかったです。」

と語っていただきました。

JGAP と A2 ミルクの関係をもう少し聞いてみようとして、ホリ乳業にお邪魔しました。

2024 年 2 月に新しい工場が完成し稼働し始めたばかりというホリ乳業は、ホリ牧場の牛乳を使った商品を多く製造し、学校給食にも牛乳を提供している地元に根付いた乳業メーカーです。

A2 ミルク協会の理事も務めている堀初治社長に、JGAP と A2 ミルクの深い関係性について教えていただきました。



ホリ乳業での取材の様子

JGAP と A2 ミルク認証制度の関係性とは？

A2 ミルク認証を取得するためには、JGAP または JGAP と同等の認証取得が必要となっているそうです。

「JGAP 等の認証の取得を要件とすることで、A2 ミルクに付加価値が付与され、信頼性が増すんです。現在、ホリ牧場を含め 2 農場から A2 ミルクを受け入れていますが、どちらも

A2 ミルク認証制度とは

A2 ミルク認証制度は A2 ミルク協会が設立した認証制度です。認証を受けようとする農場および乳業工場は、第三者による精度の高い検査と監査を受ける必要があります。A2 ミルク認証制度で実施されている乳タンパク質検査(A2 ミルクであるかを診断するための検査)は 98%~99% と非常に高い特異度を示し、監査時の検査は農場と乳業工場ですべて 3 回実施され、監査以外でも定期的に毎月検査を実施します。また、農場に関しては、A2 ミルク認証を取得するために JGAP もしくは JGAP と同等の認証の取得が必要となっており、乳業工場では他の生乳と混ぜられないシステムを構築することが求められている。そのため、A2 ミルク認証を受けた A2 ミルクはより確かなものであると保証されている牛乳と言えます。この日は、作業中の怪我の防止策についても話し合いが行われていました。



JGAP認証農場であり、A2ミルク認証＝JGAP認証とも思っています。」と教えていただきました。

A2 ミルク認証を受けた A2 ミルクは酪農業界の救世主！

「人口が減少傾向の中で、いかに牛乳を飲んでもらうかということを常に思案しています。お腹がゴロゴロすることで、仕事や学校、そのほか大事な用事の前に牛乳を飲むのを控えている方が、A2ミルクなら気にせず飲めるのであれば、消費拡大に貢献できると考えています。一方で、安価なものを欲しがる動きが強く、牛乳も低価格の傾向となっている昨今、A2ミルクを作ることによって酪農家とその畜産物の価値を上げ、さらに JGAP 取得を要件とすることで、A2 ミルクに付加価値を付け高く買ってもらう、そういう流れを作りたいと考えています。」

と、昨今の畜産情勢を変えたいという強い思いも語ってくれました。



JGAP と A2 ミルク認証制度の関係性を語る堀初治社長

乳業メーカーが考える JGAP とは？

「乳業メーカーという食品工場にとって、HACCP 等は当然取り組むものであり、取り組むことで工場を守ってくれるもの。JGAP も同様に農場を守ってくれるものと考えられるのではないのでしょうか。」

と、食品工場の経営者として、JGAP の意義についてもお話してくれました。

今後の乳業メーカーとしての展望は？

A2 ミルク認証を受けた A2 ミルクを製造することで、経済の低迷から酪農業界全体を救いたいと考えているホリ乳業さん。

「安全安心、そして安定的に商品を製造することは当然として、愛される商品を作り続けていきたい。そして、メーカーとして自分たちの手で作ったものを自分たちの価値で売りたい。」と、今後の展望を語ってくれました。

今回、チャレンジ精神にあふれ、前進し続けるホリ牧場とホリ乳業取材しました。

JGAP 認証と、A2 ミルク認証。
ホリ牧場とホリ乳業のようにお互いを
支えあう存在でありたいと思いました。

ホリ乳業の A2 ミルクはどこで買えるの？

ホリ乳業で製造された A2 ミルクは 2 種類。下記で購入できます。
○日本 A2 協会牛乳
東京・大阪近郊の百貨店・食品スーパー（イオン・イオンスタイル・スーパー・田子重）
オンラインショップ（楽天市場・Amazon）
○河北潟 A2 牧場牛乳
東京・大阪近郊の百貨店・食品スーパー

詳細は日本 A2 ミルク協会 Web サイトに掲載されています（URL：
<https://www.japan-a2milk-association.or.jp/store/>）